

令和4年度下半期、令和5年度上半期「地域ケア個別会議」活動報告

1. 実績 詳細は別紙参照

○ 「自立支援」のための個別ケア会議

開催期間		開催数	事例数	見学者数
令和4年度 下半期	令和4年9月 ～令和5年3月	7回	14事例	25人 (3.57人/回)
令和5年度 上半期	令和5年4月 ～ 8月	5回	10事例	18人 (3.6人/回)

○ 「援助困難ケース」のための個別ケア会議（随時開催）

令和5年4月～11月 南部地域包括支援センター 2件 [R4年度 3件]
北部地域包括支援センター 3件 [R4年度 3件]

2. モニタリングについて 詳細は別紙参照

地域ケア個別会議実施 3か月後にモニタリング実施

※ 2事例については担当ケアマネジャーの退職のためモニタリングを行えず

○ 会議で助言や検討事項を介護予防事業計画書(プラン)へ反映

・ 10事例 / 22事例中

○ 本人・家族への提案

・ 20事例 / 22事例中

○ プランに反映できない・家族への提案ができなかった原因

- ・ご本人のこだわりが強いこと
- ・本人が現在必要としていない

3. 令和 5 年度における本会議の取組

令和 4 年度の振り返り(反省点)からの取組

前年度の振り返りを実施し、改善するために以下の 2 点について取組んでいる。

① 事例提供者や関係者間の調整や情報共有不足

会議中に個別課題の検討から外れ、会議の方向性が定まらない場面がみられた。運営者と事例提供者との事前の調整や情報共有が不足していたためと考え、今年度より事前に事例提供者と必要なアセスメントや、情報の集約を行うことで会議をスムーズに進行するよう努めている。

また、毎回会議終了後に両包括支援センターの職員で自立支援や個別課題について話し合いを実施している。

② 会議の見学者が少ない

新型コロナウイルス感染症影響を受けて見学者の人数制限していたこともあり、ケアマネジャー等の会議に対して関心が薄くなっていると推察される。そのため各事業所に会議の開催通知を送付する際に事例の内容も付け加え、興味・関心を持って参加してもらえるようにした。

また、会議中に出席者全員での意見交換の時間を設け、参加者からの意見や専門職への質問もできるような情報提供の場となるようにした。参加者も主体的に参加する場とし、今後の支援にもつながる充実した会議となるようにしている。